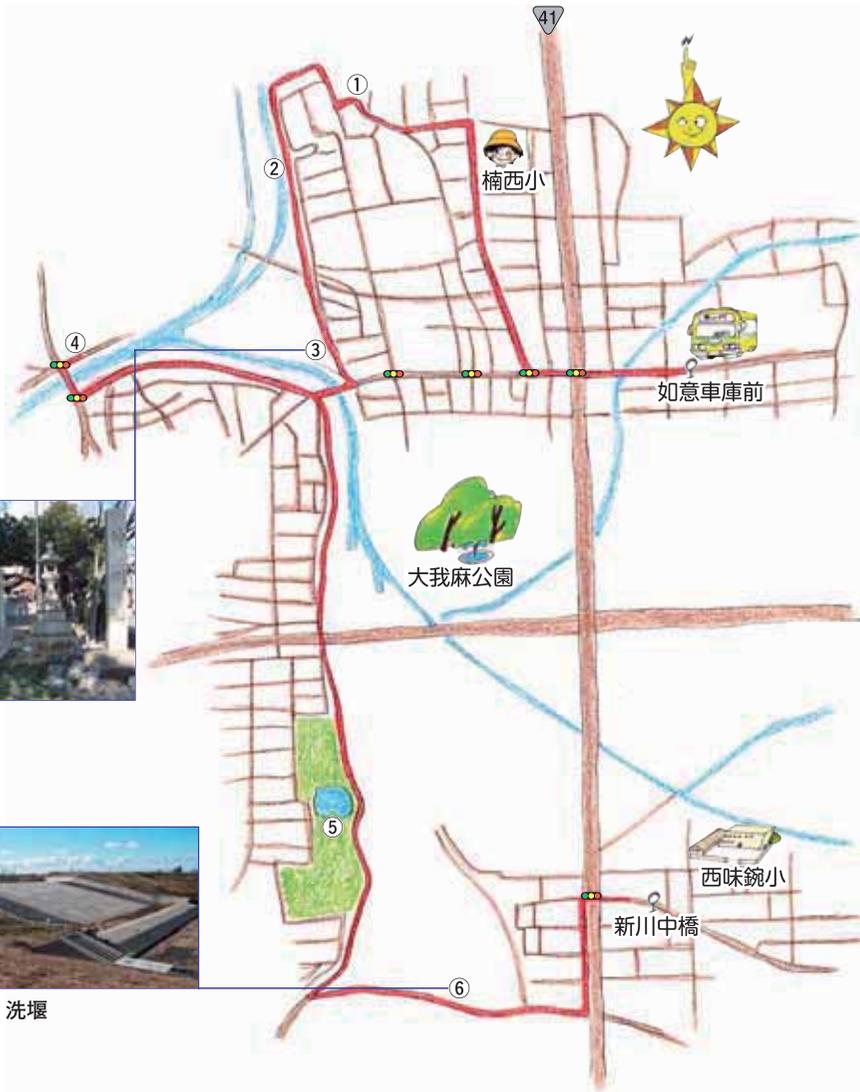


4 洗堰散策コース 約 5.6 km

自然とたたかいながら、ひたすら貧苦に耐えて開拓し続けてきた先人の歩みをたどって、大我麻神社から、今は、流れる川も静か。

楠西堤、比良堤防、緑地公園として整備された新川洗堰までの散策路。



神明社



新川 洗堰

① おおがまじんじや 大我麻神社

大蒲新田開拓の祖、佐々木磯吉が、文政年間（1818～29）に勧請したといわれる。境内に、大蒲新田開拓の先駆者の記念碑がある。



② くすのきにしつみ 楠西堤

寛延2年～宝暦13年（1749～63）15年に近い年月を要して完成。平成12年9月におこった東海豪雨のため、堤防は補強工事が行われた。現在は、遊歩道として整備されている。

③ しんめいしや 神明社

喜惣治新田開拓当初、国枝喜惣治が伊勢神宮から天照大神を奉受してまつたといわれる。一説には、開拓の始祖林平八の夢枕に立った神のお告げに基づくともいわれる。

くにあだきそうじ 国枝喜惣治

宝暦13年（1763）、愛知郡戸部下新田から移住、この地を買い取り、堤防を築いて、開こん事業をおし進めた。地元の人々は、この功績を記念し、残すため喜惣治新田と名づけた。

④ みずのせん の うえもん けんしょうひ 水野千之右衛門 顕彰碑

庄内川出水による被害を防止した洗堰・新川開さく治水碑。水野千之右衛門は、工事の普請奉行で、その偉業を顕彰したものである。（所在地：北名古屋市）



⑤ じゃいけ 蛇池

大蛇が住むと聞いた若き日の織田信長が、近村の村人を集め、池の水を乾し、自ら探したが蛇の姿はなく断念したと伝えられる。蛇池の主竜神に因んだ櫃流神事が毎年4月第2日曜日に行われる。



⑥ しんかわ あらいぜき 新川 洗堰

洗堰は、庄内川右岸堤防の一部を切り落として造られた堰で、庄内川出水の際、これを新川へ流す重要な役割を果たした。大飢饉下の天明7年（1787）に完成し、庄内川流域の災害を防ぎ、開拓を促進した。

